



本三賀 藤井農園さんの長芋（ながいも）の収穫作業の様子。重機を使って豪快に行います。長芋が埋まっている箇所を少し脇を重機で一気に掘り返し、土の中の芋を壁を削るように一本ずつ手作業で収穫します。



第24期  
農業委員会活動



聖籠町農業委員会会長 駒澤 一男

今年4月より第24期農業委員会会長になり、責任の重さを痛感しています。我々の仕事は遊休農地の解消、農地法の許認可、人・農地プランの推進、町に対する農業施策の意見など様々ありますが、農業委員10名、農地利用最適化推進委員6名共に力を合わせ、農家の皆様や各関係機関の協力を得ながら、聖籠町農業発展のために努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 地区担当の委員が 農地、農業等に関するご相談に応じます

**農業委員** 主な役割：①農地法に基づく許認可 ②地域農業振興の推進 ③農業者の公的代表組織

**農地利用最適化推進委員** 主な役割：①担い手への農地利用の集積・集約化 ②遊休農地の発生防止・解消 ③新規参入の促進

地区	四ッ屋 道賀新田 上大谷内 真野、丸瀧 桃山、山倉	中の橋 本諏訪山 山諏訪山 本大夫 山大夫 本三賀	山三賀 二本松 外畑、正庵 別條、八幡	蓮野 杉谷内 甚兵衛橋	藤寄 大夫興野	苔沼 聖中ヶ丘 蓮瀧 蓮瀧新田	網代浜	亀塚 次第浜
担当農業委員 (Tel)	神田 勝 27-4566 栗原 一成 27-5259	駒沢 一男 27-4650	新保 昇英 27-2083 新保 要一 27-4475	新保 勇 27-4138 加藤百合子 27-8512	八幡 裕 27-4083	曾根 善治 27-4708	宮下 吉勝 27-1159	
担当農地利用最適化推進委員 (Tel)	宮野 公之 27-4467		岩渕 せん 27-4324		新保 昭治 27-4072	曾根 健一 27-4848	齋藤 直樹 27-7587	高崎 信暁 32-5478

### 合同視察研修に参加して

認定農業者会会長 吉田 敏之

8月30日、富山県射水市いみず野農協へ、平成30年5月に設立されたもみ殻循環施設を視察してきました。施設では、もみ殻を専用焼却炉で温度コントロールして燃焼させることにより、シリカ灰というケイ酸肥料を抽出し、焼却の際に発生した排熱を、隣接するイチゴハウスの暖房に使用するという先進的な取り組みを行っていました。なお肥料については、製品化を計画している段階であり、収益ベースでの検証はまだできていないということでした。町では近年、離農者が増加し担い手への農地の集積が進む一方、担い手は増大するもみ殻の処理に苦慮している状況のため、いみず野農協の取り組みを参考に、もみ殻処理を事業化できるよう関係機関と連携しながら検討を進めていきます。



第24期農業委員会 新規農業委員・農地利用最適化推進委員を紹介します。



農業委員 新保 要一 山三賀

この度、多くの方々から御支援をいただき農業委員の任に就かせていただきました。

今、安倍政権のもと農業（農業委員会）と農協が、規制改革で激動の時期を迎えております。他の農業委員、推進委員と力を合わせて、農業委員会の使命を全うし、後継者の育成・地域農業の振興を目指しますのでよろしくお願います。



農業委員 栗原 一成 本諏訪山

農業・農村を取り巻く環境が大きく変化しています。遊休農地の増加、高齢化と離農が急速に進む中、担い手及び新規就農者の確保、地域農業をけん引する競争力の高い経営体の育成が必要です。農地利用の最適化に努めると共に農業の持続的な発展のため、皆様方と一緒に考えていきたいと思いたす。どうぞよろしくお願います。



農業委員 八幡 裕 大夫興野

ます。

この4月から農業委員になりました。担当地区は大夫興野・藤寄地区になりますが、当地区では後継者不足の中、今後の農地を守るためは場整備事業の実現を目指しております。本事業の実現に向けて農地利用最適化推進委員で、地区のほ場整備委員長である新保昭治さんと共に、微力ではありますが尽力したいと思っておりますので、よろしくお願います。



農業委員 神田 勝 丸潟

この度、第24期農業委員として働かせていただくことになりました。今後の担い手の確保に向け、遊休農地の解消に取り組み、ほ場の区画整備を進め、稼働率を上げて作業できる農業となるよう皆様と協力し、国の基幹でもある大切な農地を守る努力をしていきたいと思いたす。微力ではありますが、



推進委員 岩淵 せん 二本松

ご指導を含め今後ともよろしくお願いたします。

推進委員になり、半年が経過しました。まだまだ分からないことばかりで日々勉強中です。推進委員の主な役割は、農地の有効利用の意義・重要性を地域に伝えること、農地の遊休化を防止すること、新規参入を促進することです。私の方は逆に地域の人に教わる事が多いかもしれませんが、よろしくお願いたします。



推進委員 齋藤 直樹 網代浜

この度、農地利用最適化推進委員になりました。担当地区は網代浜になります。地域に増える遊休農地の解消、担い手への農地の集積・集約化、新規就農者の支援等、様々なニーズに答えられるよう農業委員と連携して努めて参りたいと思いたすのでよろしくお願いたします。



推進委員 曾根 健一 蓮潟

平成31年4月から、農地利用最適化推進委員となりました。担当地区は蓮潟です。近年増加傾向にある遊休農地の発生防止・解消、農地の集積・集約、農業や農地に関する相談等、農業委員と協力しながら問題解消に向けて努めて参りますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いたします。



推進委員 宮野 公之 山三賀

4月から農地利用最適化推進委員になりました。担当地区は中ノ橋、諏訪山、大夫地区となります。遊休農地の解消や担い手への農地集積、新規就農者のサポート等、委員として努めていきたいと思いたすのでよろしくお願いたします。また担当地区以外にも農業、農地のご相談などありましたらお声かけください。

11月8日に

農業委員会が意見書を町長と町議会に提出しました。



## 意見書（概要）

## 1 持続可能な農業へ向けて

高齢化等により担い手と言われる農業者が減少していくなか、農業者が安定した農業経営を持続させるには、農地利用の最適化の推進および農業用施設整備や組織育成など様々な支援策が重要であるため、今後も関係機関・団体と連携を図りながら、持続可能な農業の確立に向けた支援策を講じられるようお願いいたします。

## 2 担い手への農地の集積・集約化について

農業経営の規模拡大を図るためには、耕作の事業に供される農地等の集団化を図り効率的に耕作できるようにする必要があるため、農地中間管理事業の活用、地域の話合い（人・農地プランの実質化に向けた取り組み等）、基盤整備事業の活用などにより、担い手への集積・集約が図られるよう取り組まれることをお願いいたします。

## 3 耕作放棄地の発生防止・解消について

高齢化等による労働力の不足や土地条件が悪いことなど様々な要因による耕作放棄地が増加しており、農業委員会による耕作者への指導のみでは限界も感じられることから、耕作放棄地の解消対策として基盤整備の推進や遊休農地対策事業補助金の拡充など具体的な施策を講じられるようお願いいたします。

## 4 農業委員会の体制について

改正農地中間管理事業関連法において、農業委員会は人・農地プランの実質化に主体的に取り組むことが明文化されました。また、町内各地域で話し合いが続けられている基盤整備事業についても、農業委員会には膨大な事務遂行が予測されているところです。つきましては、農業委員会事務局の様々な業務に対応するための体制整備及びそれに伴う適切な職員配置を引き続き講じられるようお願いいたします。

※ 意見書全文は農業委員会事務局で閲覧できます。

葉坂地区の  
工事は令和6  
年3月に完成  
の見込みで、  
ほ場整備と法  
人化、園芸拡  
大の取り組み  
を行うことで、  
将来、若者た  
ちが参入しや  
すい農業、農  
村づくりを行  
いたいという  
ことでした。



**先進地視察研修（宮城県柴田町）**  
会長職務代理 新保 昇英  
私たち農業委員会は11月6日に宮城県柴田町へ先進地視察研修に行ってきました。  
柴田町は、現在聖籠町内7地区で進めているほ場整備事業に、平成25年から取り組んだ町です。  
その地区の一つである葉坂地区は、平成29年12月に農家85戸のうち21戸で農事組合法人「葉坂希望の郷」を立ち上げ、49haの農地を中間管理機構へ一括して貸付け、農地整備を計画し、平成30年4月に事業採択となった地区です。  
現在に至るまでに苦労したこととして、推進委員の青柳さんは農地中間管理機構の活用の際、未相続農地が17件あり、地権者に何度も説得にあたるなど、厳しい局面もあったと話をされました。



# 聖籠町賃借料情報は下記のとおりです。

平成31年1月から令和元年12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10a当たり）は、以下のとおりとなっております。

## 1. 田（水稻）の部

※

締結（公告）された地域	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	筆数	使用貸借(筆数)
30a～100a区画のほ場整備完了地	21,300	23,000	17,500	58	0
ほ場整備完了地除く全域	21,000	25,000	14,300	909	63
ビニール水田	19,200	21,000	10,000	21	0
(参考) 聖籠町平均	21,000	—	—	—	—

## 2. 畑の部

区 分		平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	筆数	使用貸借(筆数)
普通畑	町内全域（普通作物）	5,700	12,000	1,000	36	53
特殊畑	町内全域（果樹等）	15,800	30,000	5,000	6	5

※ 使用貸借とは無償の貸借です。（ただし、維持管理費等の負担を除く）

## 新規就農者紹介



新保 秀満  
杉谷内

就農して3年が経ちました。私ので作っている作物はイチゴと水稻とネギです。イチゴと水稻は家で元々作っていたのでそれを引き継ぎ、ネギは新規で導入しました。

就農前に農業研修をしてきましたが、研修が終わり実際に農業をしてみると、各作物の作業調整・段取りが全然出来ませんでした。次の年は作業期間をずらしてみたり、無駄な作業を減らしたりして前の年よりは楽になりました。

今後も無駄な作業を減らして生産コストを下げていけるよう、先輩方の話をよく聞き、上手に農業をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



坂上 正俊  
二本松

私は若い頃、プロサーファーを目指していた、新潟県内の大会では何度か優勝したこともあります。ですが、プロになっても生計を立てることができないことに気づき、その道をあきらめました。

その後、大型タンクローリーの運転手をしていましたが、どうしても農業がやりたくなり、会社を辞めて平成30年に就農しました。親が作っていたぶどうを継がせてもらい、坂正農園というぶどう園をやっています。地域の方々はとても優しく、とても良くしてくれているので感謝しています。

農業は決して楽な仕事ではないですが、ずっとサラリーマンだった私にとって、今はとても楽しい環境です。これからも応援していただけるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。

# 農業者年金で 生涯所得の確保を

農政部長 宮下 吉勝

今後本格化する少子高齢化により国の年金制度は厳しい状況です。

農業者だけが加入できる農業者年金は、会社員並の年金となるよう国民年金に上乘せする公的年金です。農業者にとって終身年金であり、たくさんのメリットがあります。(下図参照)。

国民年金第一号被保険者で、年間60日以上農業に従事しており、60歳未満の方ならどなたでも加入できます。また、保険料は2万円から6万7千円まで加入者が選択でき、保険料の額はいつでも見直しが可能で、積立方式確定拠出型の年金です。

税制面でも大きな優遇措置がありますので、詳細につきましては農業委員会、JAにお問い合わせください。

## 農業者年金に加入して豊かな老後を！

～加入要件は3つ、メリットは6つ～

### 加入要件

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事する方
- ③20歳以上60歳未満の方

### メリット

- ①積立方式で安全
- ②加入・脱退も自由
- ③保険料は全額社会保険料控除
- ④保険料はいつでも変更可
- ⑤農業の担い手には保険料を国が補助
- ⑥終身年金80歳までの死亡一時金あり

国民年金の支給額は  
年額156万円

農業者の皆さんが加入している国民年金は、40年加入、納付した場合、夫婦二人で月額約13万円です。  
(平成30年度の老齢基礎年金の満額参照)

それに対して

老後の家計費現金支出は  
年額288万円

高齢農家世帯(世帯主が65歳以上の夫婦2人)の家計費は、現金支出で月額約24万円です。  
(平均28年総務省家計調査を基に推計)



年額132万円のマイナスをどうしますか？

ぜひ**農業者年金**をご検討ください！

お問い合わせは .....

聖籠町農業委員会 (聖籠町役場 1階)  
JA北越後営農センター

聖籠町大字諏訪山1635-4  
新発田市島潟字弁天1449-1

TEL 0254-27-1964  
TEL 0254-26-7000

## 農業委員会の主な動き

平成31年1月～令和元年12月

- 1月18日 認定農業者との意見交換会
- 1月25日 農業委員会部会・総会
- 2月25日 農業委員会部会・総会
- 3月5日 郡市連絡協議会農業委員研修会 (聖籠町)
- 3月25日 農業委員会部会・総会・委員任命式
- 4月1日 農業委員会総会・委員任命式
- 4月11日～12日 全国情報会議 (東京都)
- 4月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 5月24日 農業委員会部会・総会
- 5月27日～28日 全国農業委員会長大会 (東京都)
- 6月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 7月10日 農地パトロール
- 7月11日 地域別農業委員会研修会 (新潟市西蒲区)
- 7月25日 農業委員会部会・総会
- 8月21日～9月5日 全農地利用状況調査
- 8月26日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 8月26日 農業者年金加入推進研修会
- 9月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 10月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議
- 11月6日～7日 農地利用集積視察研修 (宮城県柴田町)
- 11月8日 意見書提出 (町長・議長)
- 11月19日 新潟県農業委員会大会 (長岡市)
- 11月25日 農業委員会部会・総会
- 11月27日 新発田地域農業振興大会 (聖籠町)
- 11月27日 農業者年金加入推進セミナー (東京都)
- 11月28日 全国農業委員会会長代表者集会・国会議員要請 (東京都)
- 12月25日 農業委員会部会・総会・委員合同会議

# 遊休農地の解消へ

農地部長 曾根 善治

農業委員会では、町の基幹産業である農業を守るため農業委員、農地利用最適化推進委員で町内の違反転用、耕作放棄地の防止パトロールを7月に実施し、8月下旬から9月上旬には、それぞれの委員が担当する地区を一筆ごとに確認しました。また、毎月の定例総会時には農地パトロールの報告書を提出し、違反転用、耕作放棄地の防止に努めています。遊休農地と判断された農地については、所有者に遊休農地の位置図と利用意向調査という文書を送付し、解消に向け協力をお願いしています。

また、町には遊休農地を解消し、利用してもらうための遊休農地対策事業補助金という制度（下図参照）もあるので、詳しいことは農



業委員会に相談してください。わかりきったことではありませんが、農地は荒れてからでは元に戻すのが大変です。そうなる前に日頃の管理をお願いします。

## 遊休農地の再生利用を応援します！ 遊休農地対策事業補助金

### ◆ 補 助 内 容 ◆

対 象 者	対 象 経 費	補 助 金 額
①遊休農地を新規に取得又は賃借して耕作する者 ②地区協議会（農家組合単位で組織し、遊休農地所有者を含む3戸以上を構成員とする協議会）	遊休農地を解消、再生利用する活動に要する経費 （障害物撤去、抜根、草刈、耕うん等による環境整備） ※土地改良に要する経費は除く	補助対象経費の3分の2とする。 （1回限り）
上記②の地区協議会	上記で整備した遊休農地の保全管理に要する経費 （景観作物作付け活動又は耕うん、草刈等による保全管理）	補助対象経費の3分の2とする。 （1年に1回まで、2年の活用を上限とする。1回分限度額2万円/10a以内）

◎ 詳しくは産業観光課・農業委員会（☎27-2111）へお問合わせください。

**農作業事故の防止に心がけましょう**  
**農業機械による公道への汚れ防止に心がけましょう**  
**堆肥による迷惑臭の防止に心がけましょう**



# がんばっている

## 農業者

宮野 亜矢子  
山三賀

私は、2011年の東日本大震災をきっかけにそれまで生活していた関東から夫の地元であるこの聖籠町へ引っ越してきました。

夫が代々からの農地を守っていきたく就農し、私もそれをサポートしたいと思い、農業のお手伝いをスタートしました。夫も私も多くの未経験からのスタートで不安もありましたが、周りの先輩や集落の方々からいろいろと教わり農地も拡大してきました。現在はさくらんぼ80aの経営をしています。また夫が農業仲間と梨の栽培を始め、経営の拡大を進めています。

果樹栽培は天候に左右されることが多くまだまだ安定した経営とはなりません。同じ世代のママさん達にも加わってもらい楽しく農作業をしています。

一生懸命手を掛けた果物を美味しいと言ってもらえることがすこ



く嬉しく、やりがいのある仕事だと思っけています。これからはより多くの方に美味しい果物を届けられるよう女性の目線から販売にも力を入れていきたいと思っけています。

### 自分の農地でも農地転用に許可がいること、ご存知ですか？

農地転用とは農地に住宅を建てたり、資材置場にするなど、農地を農地以外の目的で使用することです。違反転用者には懲役・罰金が科せられる可能性があります。農地転用の際は必ず農業委員会へ事前相談をしてください。

### 全国農業新聞

農業委員会のネットワークが発行する農業専門紙です。  
 ★週刊金曜日発行 月700円  
 ★申込：農業委員会事務局又は農業委員・推進委員  
 ★連絡先：27-1964

### あ と が き

あまりクローズアップされていないと思いますが、農作業事故について時折、耳にすることがあります。安全な農作業を願いその実態について調べてみました。

農作業死亡事故については、全国で毎年300件を超えており、危険度の高い作業が多い建設業と比べて就業割合で2倍、全産業平均の9倍と突出しています。また、農作業による事故は年間7万件程度発生しているのではないかとJA共済連では推測しています。

死亡事故を年齢別に見ると、65歳以上の高齢者によるものが、8割以上を占め、年齢による判断能力の衰え等によるものと見られています。農機具別ではトラクター使用中の転倒、転落によるものが一番多く、次に農業用トラック等の運搬車となっています。

このように、農業は他産業より危険な面も多いため、たとえ慣れた作業でも基本操作をもとに慎重に機械を取り扱い、来年も事故防止に努めていただきたいと思います。

広報委員 八幡 裕

◆編集・発行 聖籠町農業委員会

〒957・0192

新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635番地4

☎(0254)27・2111

(印刷 天野印刷)